

報告第18号

平成30年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価の報告について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第5条第1項の規定に基づき、平成30年度公益財団法人宇治市公園公社経営評価について、別紙のとおり報告する。

令和元年9月17日提出

宇治市長 山 本 正



元公宇公第170号
令和元年6月28日

宇治市長 山本 正 様

所在地 宇治市広野町八軒屋谷25-1
法人名 公益財団法人宇治市公園公社
代表者氏名 理事長 吉田 博



宇治市出資法人自己評価報告書の提出について

宇治市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例第4条第2項の規定に基づき、次のとおり報告します。

宇治市出資法人自己評価報告書

1. 法人の概要

団体名	公益財団法人 宇治市公園公社	設立年月日	昭和63年7月11日
一般財団法人 及び 公益財団法人への移行年月日			平成22年10月1日
基本財産	30,000千円 (移行前 30,000千円 うち出えん・出資額 30,000千円 出資比率 100%)		
設立目的	宇治市における都市緑化推進事業及び公園緑地事業の発展振興を図り、市街地の緑化及び緑地保全を促進するとともに、都市公園等の円滑な管理運営及び健全な利用を通じてスポーツ・レクリエーションの振興を図り、もって都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与する。		

2. 役職員等の状況

		平成28年度		平成29年度		平成30年度				
		市職員	市OB	市職員	市OB	市職員	市OB			
役員等	常勤	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤	22	3	3	22	3	3	22	3	3
職員	管理職	6	0	5	6	0	5	6	0	5
	一般職	19	0	1	19	0	0	19	0	0
	計	25	0	6	25	0	5	25	0	5

*役員等と職員を兼務している場合はそれぞれ1名でカウントしている。

3. 事業の概要

主要事業名	事業内容
緑化推進事業	都市緑化基金の造成、管理及び運営 都市緑化の推進を図るための調査研究 公園及び緑地の保全利用に関する啓発 自然環境の保護及び整備 植物文化の普及及び向上
都市公園・都市公園施設の管理運営事業	宇治市植物公園、西宇治公園・巨椋ふれあい運動ひろば及び黄檗公園・東山公園の管理及び運営
スポーツ・レクリエーション事業	スポーツ需要の拡大及び健康の維持増進のための健康づくり講座

4. 財務状況

1) 正味財産の状況

(単位:円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
収 益	367,028,178	360,494,540	324,223,131
収益事業収益等	17,602,083	17,271,625	17,464,213
市 支 出 金	349,426,095	343,222,915	306,758,918
人 件 費	124,626,034	128,920,752	118,338,913
事 業 費	224,800,061	214,302,163	188,420,005
費 用	366,920,165	360,329,863	320,758,948
人 件 費	137,232,006	140,794,957	129,567,780
事 業 費	229,688,159	219,534,906	191,191,168
当期経常増減額	108,013	164,677	3,464,183
当期正味財産増減額	22,629,898	△485,123	3,163,782
期末正味財産合計額	171,282,424	170,797,301	173,961,083

2) 貸借対照表

(単位:円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
資産合計	214,613,630	218,969,538	227,461,955
流 動 資 産	9,911,393	12,071,960	14,118,284
固 定 資 産	204,702,237	206,897,578	213,343,671
負債合計	43,331,206	48,172,237	53,500,872
流 動 負 債	19,622,196	21,560,855	23,340,490
固 定 負 債	23,709,010	26,611,382	30,160,382
正味財産合計	171,282,424	170,797,301	173,961,083
基 本 財 産	31,415,343	31,211,343	31,028,343
その他正味財産	139,867,081	139,585,958	142,932,740

3) 市財政支出の状況

(単位:円)

年 度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
補 助 金	124,626,034	128,920,752	118,338,913
委 託 料	224,800,061	214,302,163	188,420,005
その他(分担金等)	0	0	0
計	349,426,095	343,222,915	306,758,918
貸 付 金	0	0	0
借入金残高(期末)	0	0	0
市の債務保証残高(期末)	0	0	0
市の損失補償残高(期末)	0	0	0

4) 主要経営指標

指標	算式	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
人件費比率	人件費計÷費用計	37.4%	39.1%	40.4%
自己資本比率	正味財産計÷資産計	79.8%	78.0%	76.5%
流動比率	流動資産÷流動負債	50.5%	56.0%	60.5%
借入金依存度	借入金残高÷総資産	0%	0%	0%
借入金返済能力	長期借入金÷(減価償却費+税引後利益)	0%	0%	0%

5. 経営評価 (法人自己評価)

視点	評価	コメント
目的適合性	A	<p>当社は、都市環境の改善と市民福祉の増進に寄与することを目的とし、都市緑化事業に取り組み、緑豊かなまちづくりとスポーツ・レクリエーションの振興と健康づくりを推進する事業の発展的展開を図ってきました。また、公益法人として、公益目的事業の推進に努めております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、都市緑化の拠点として、市街地の緑化保全の推進並びに市民の緑化意識の向上及び宇治地域植物の保存・育成に寄与し、併せて環境保全、防災、景観、レクリエーション等の機能を有する「みどりの憩いの場」としての役割を果たしてきました。</p> <p>都市緑化の魅力を高め、緑豊かな住環境推進の核となる公園として、公益性の強化、顧客満足度の向上、企業倫理の確立を踏まえ、緑の情報発信、緑の空間の創造、「みどりの学校」等市民参加型の事業の実施、施設の充実、子ども対象の事業企画、高齢者・身障者の対応、生物多様性の保護等積極的な事業・施策展開を図り、公園管理運営士の資格取得等、緑化推進を基軸として多種多様に取り組んでおります。</p> <p>「運動公園施設」については、体育施設運営士、プール衛生管理者等の有資格者の職員を配し、安全安心な運営管理のもと、市民サービスの向上とスポーツ・レクリエーションの振興を基調に置いた貸館施設事業の運営にあっております。</p> <p>加えて、公園公社の自主事業として多様な健康運動教室を実施し、市民の健康と地域の生活福祉の増進にも努めています。</p>
効率性	A	<p>「公社事務局」については、振込業務の電子化、一元的な会計処理の電算化など事務の簡素化と効率化に努めております。</p> <p>「宇治市植物公園」については、限られた人員の中で、数多くの展示会・講習会、イベントを実施するため、フレックスタイムの導入による柔軟な体制の構築や、これまで培ってきた経験と知識、データと手法を最大限に活用して施設管理の効率化を図ってきております。</p> <p>「運動公園施設」については、施設管理や運営の有資格者を配置することにより、専門的な立場から効率的・効果的な業務の推進を図ってきております。</p>

<p>組織運営 健全性</p>	<p>B</p>	<p>公益法人の核として、ガバナンスの強化、組織間の連携を図るとともに、過去の教訓を生かし、更なるコンプライアンスの強化に努めております。</p> <p>また、公益法人の適正な会計処理として、定期的な監査の実施や税理士による専門的なチェックを行っております。</p> <p>さらに、接客マニュアル、救急マニュアルと緊急時対応マニュアルに基づく、顧客サービスの向上、安全安心な施設利用と危機管理体制の確立に努めますと共にホームページによる情報発信と法人情報の公開により、経営の透明性の確保を図っております。</p>
<p>財務 健全性</p>	<p>B</p>	<p>平成 18 年度から指定管理者の指定を受け、補助金、指定管理料の中で各施設の管理運営を行っていますが、この間、歳入面では、利用収入を上げる継続した努力が不可欠となっております。</p> <p>とりわけ植物公園では、入園者の増加に向け、施設や見所等の PR を始め、タイムリーな企画を創意工夫し、参加型の事業を中心とした多様で積極的なイベント等の事業展開を図り、入園者数は平成 18 年度以降おおむね 10 万人を確保して参りましたが、平成 30 年度は、宇治市の厳しい財政状況の下で、タペストリーの絵柄の常緑化や各種イベントが縮小、廃止となったことに加え、台風等による休園などにより、入園者が 8 万 4 千人台まで大幅に減少いたしました。このため、入園者数の回復、増加に向けた新たな発想の下で多様な施策の展開を行うことを喫緊の課題と位置づけ、入園者の増加につながる効果的な事業の推進を図ることといたします。</p> <p>一方、黄檗公園、西宇治公園につきましては、施設利用者の利用率の向上を図るため、各種健康教室の開催など、新事業の企画による利用料の増加への努力・工夫を間断なく行っておりまして、公社自主事業の参加者は 800 人の増加となりました。</p> <p>なお、収益事業の収益は、公益目的事業の支出に振り替えており、公益目的事業は、これまで以上に事業の充実が図れるところであります。</p>
<p>総合評価</p>	<p>B</p>	<p>「指定管理者」としては、指定管理料を有効に活用し、市民サービスの向上、施設利用者の増加に努めますと共に、経費の削減や効率的な運営の推進にも努めております。一方、「公益法人」としては、健全で透明性の高い経営と施設の運営を通して、効果的な公益目的事業の実現に努めております。</p> <p>各施設の管理運営は良好に行えていると考えますが、入園者の増加と更なる利用率の向上を図ることは、不断の課題であると捉えておりますことから、より一層の収益と市民サービスの向上に向けた経営マネジメントを継続し、常にコストを意識した業務運営を行うとともに、市民ニーズを的確に捉えた事業の企画、展開を図ってまいります。</p> <p>特に植物公園では、喫緊の課題である入園者の増加に向け、これまで以上に打って出る施策展開を積極的に実施してまいります。</p>

評価の目安 A：良好である B：ほぼ良好である C：やや課題がある D：課題が多い